



空を飛ぶのも
自由自在

あたし達には
羽がある



ハイ
あたしはピーカ

フェアリーだよ
よろしく

まずは簡単な
自己紹介から



飛ぶ時に現れる
エフェクトみたいな
ものなので

普段の生活で邪魔に
なることもないのだ



この羽は
出し入れが自由

ていうかそもそも
実体がない

194



アイツまだいたの!?

うそっ


うん、ほら以前噂になったあの黒いオーク…

そんなある日事件は起きた



え

オーク?



アルムが言ってるのは
1年ほど前に現れた
変なオークのことだ

そいつは他と違って
仲間と群れず
真っ黒な色をしてた

ピーカが対応
したんだよね

そーだよあたしが
やっつけたんだよ
あの黒豚


外敵の排除は
フェアリーの
仕事のひとつだ

オーガやゴブリンなど
他に害を為す連中を
強制排除する

簡単に言うと
森の番兵かな

牧歌的イメージの
フェアリーだけど
実はけっこう強い






また現れたのは
何らかの自信が
あるからだと思う

今回は少し気を
つけた方がいいよ

えー!?



まーさか
今頃になって
出てくるとはね…

これ絶対
蒸し返される
流れだわ…

悪いけどアルム
なるべくあいづら
無視しといて

それなんだけど
ピーカ



その頃からだ

みしっ



ちよつと待つて
何その想定!?

オークの目的が
レイプだとしたら
まずピーカを
拉致して:

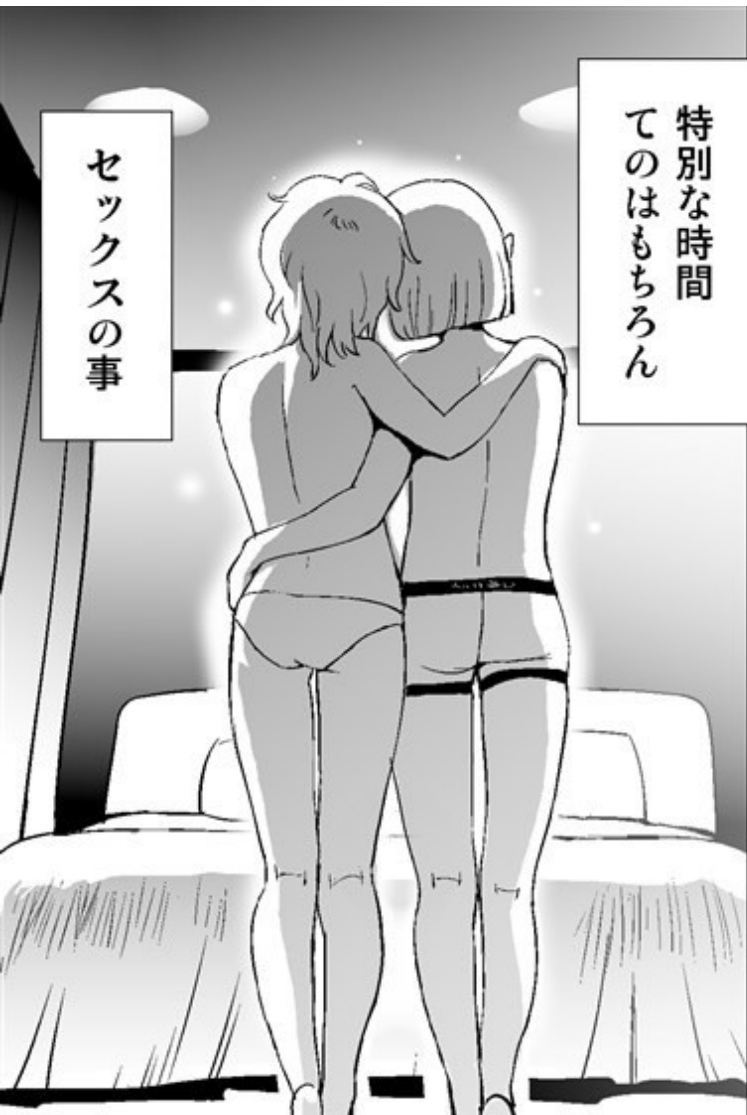
仮の話でも
そんなのは
勘弁だから!



身の周りでおかしな
気配を感じる様
になったのは

アルム？

そこにいる？



セックスの事

特別な時間
てのはもちろん



彼はアルム

あ、彼？



今日来たのは
2人で特別な
時間を過ごすため

あたしの
彼氏だよ



セックスは日常的な
コミュニケーションの
ひとつだ


その気軽さは
たとえるならば
スポーツに近い




あたしたち
フェアリーは



セックスが
大好き



マジックミサイル
という飛び道具を
持つあたしたちは



上空から一方的に
攻撃を加えることが
できるからだ

能力は他にも
いろいろあって

透明化とか

短距離転移とか

索敵レーダーとか

各種バリアとか

まだまだあるけど
要するに防御面
でも死角はない




ただ――

あのオークだけは
少し勝手が違った



なのであたしを
始めとした大半は
侵入者をとことん
からかって遊ぶ

圧倒的な高み
からの舐めプは
最高のエンタメだ



それだけ
じゃない

あたしは毎夜
変な夢を見る
ようになった


大きな
黒い男に

のしかかれる
夢だ



あたしは夢の中で

そいつに
ヤられちゃう



その手の夢を
見ること自体は
問題じゃない

フェアリーの間じゃ
そういうのも全然
ありなノリだし

何ならちよつと
ラッキーくらいの
感覚なんだけど

俺もだ
ピーカ

なんで
こいつあたしの
名前知ってるの!?

気持ち悪っ!!

うげっ!?



前回ボロ負け
したくせに

やあ久しぶり
探してたんだ

ヒュン

いい根性
してるよ



キッ



毎晩いい夢
見れただろ



あれお前の
仕業だった
のかよ!?

まさか
あの夢—



ところで
おれのプレゼント
受け取ってくれたか

は?
プレゼント?

うっ…
近っ！

てか改めて見ると
すごい体してんな

厚みがこっちの
倍以上あるよ

頑丈なわけだ

ズォォ

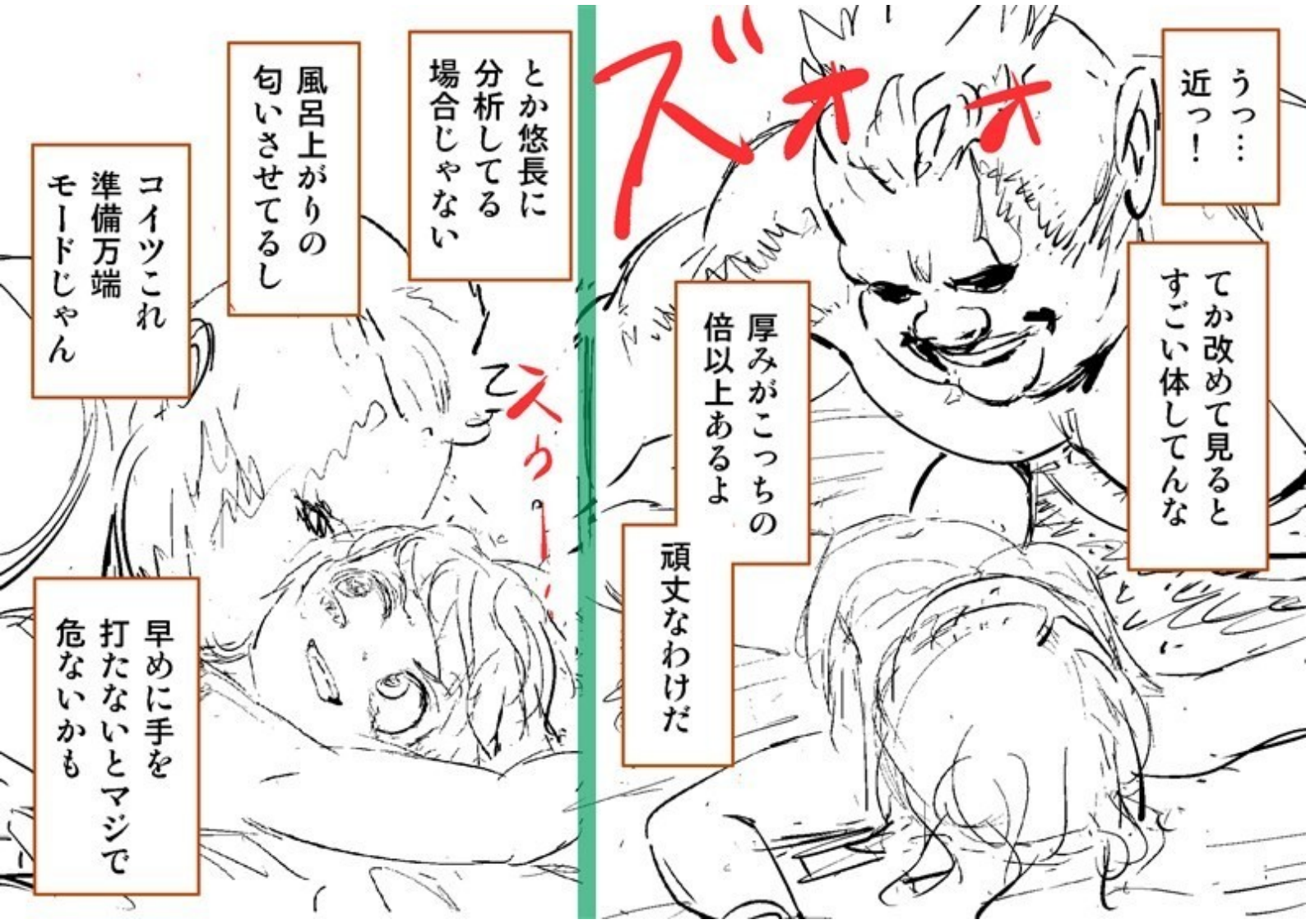
とか悠長に
分析してる
場合じゃない

風呂上がりの
匂いさせてるし

コイツこれ
準備万端
モードじゃん

早めに手を
打たないとマジで
危ないかも

ズォ





あゝ...

くっそ〜

もう!?

うそっ!?



想定外だ

ここまで欲望に
ストレートだ
なんて…



正直になる

おまえ心の奥で
おれに抱かれ
たがってる

こっ…



殺されたいなら
そう言えコラ!!

この時あたしは
ミスをした



大丈夫
おれセックス
めっちゃ得意

お前のこと
ぜったい
満足させる

ちよっ…



これ運命

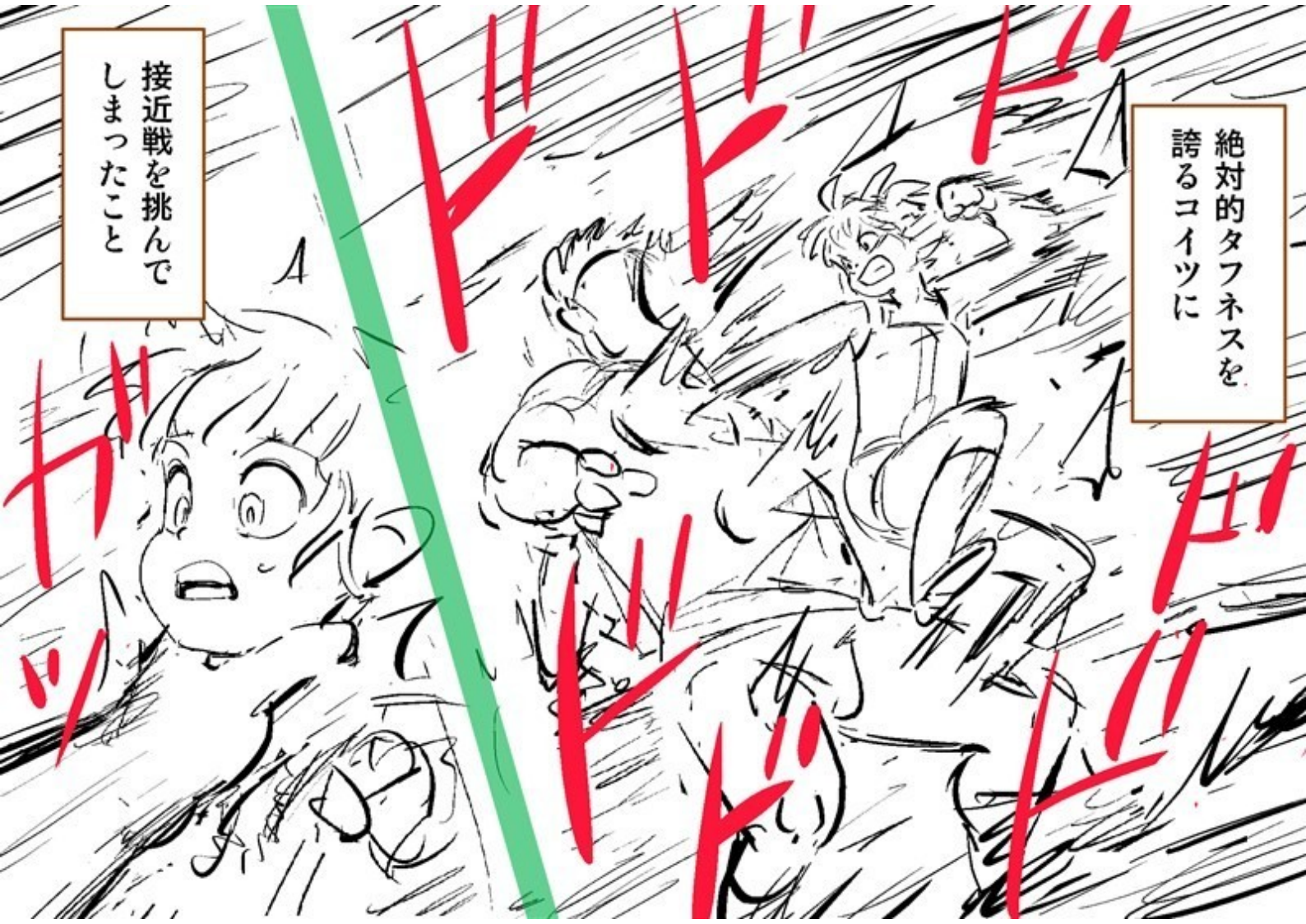
お前とおれ
一つになる

さっきから
なに言ってるの
このブタ…!?



絶対的タフネスを
誇るコイツに

接近戦を挑んで
しまったこと



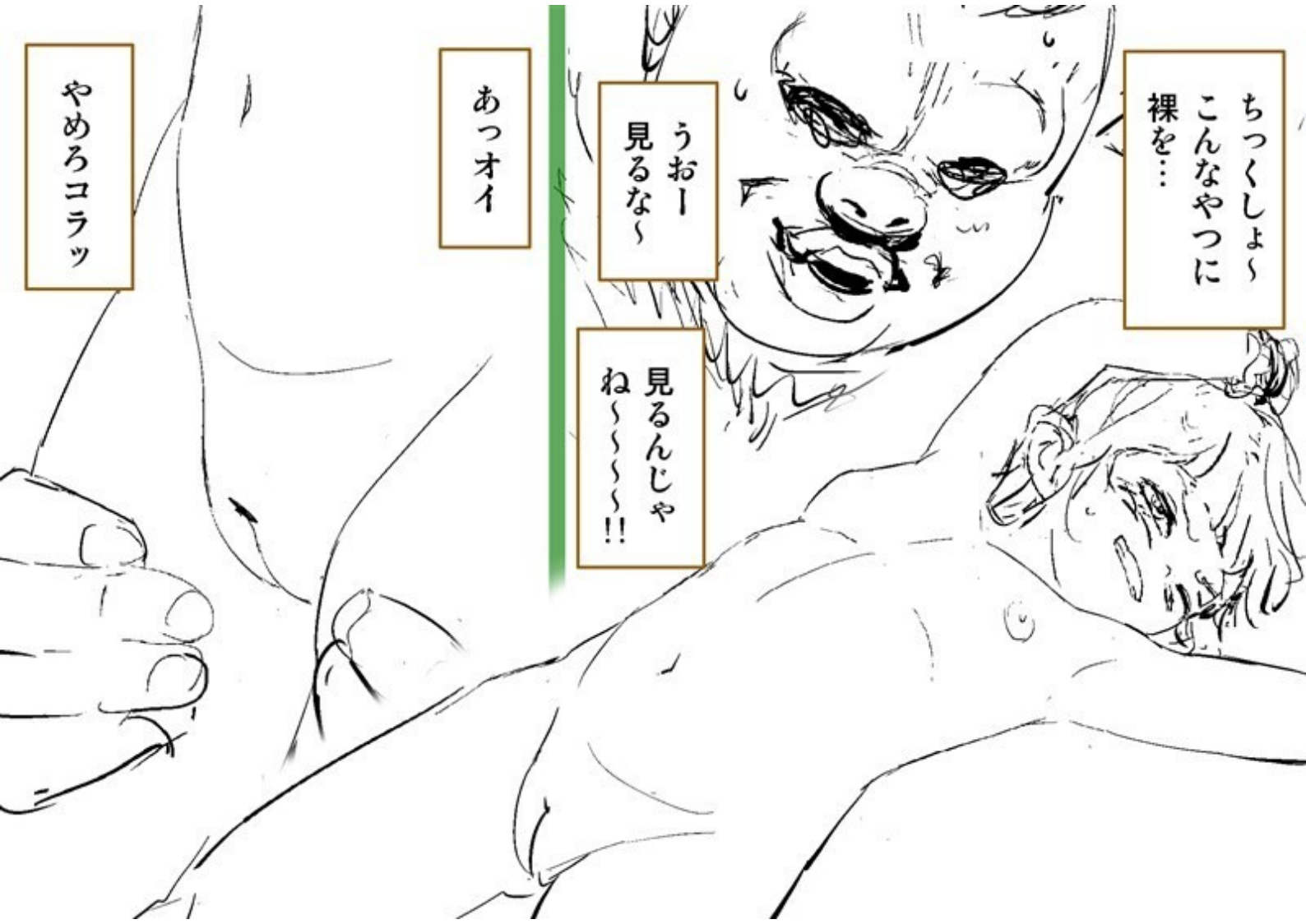
ちつくしよ
こんなやつに
裸を...

うおー
見るな

見るんじゃ
ね~~~~~!!

あつオイ

やめろコラッ



なに早速
開こうとしてんだ

させるかよ!!

くっ…
こいつ意地でも
開く気か…

あつダメだこれ
力が入らないわ

なんせフェアリーは
妊娠もしないし
病気にもかからない


だから初対面でも
挨拶感覚でHしちゃうし

相手だってコロコロ
替えて楽しむのが
普通だ










直撃すれば
粉碎骨折ものの
ミサイルを

正面から何十発と
耐えてみせた



異常なほど
タフだった

まず
コイツは

あ
た
し
だ
け
を
狙
っ
て

そ
う、他
の
フ
ェ
ア
リ
ー
に
は
目
も
く
れ
ず



い
ッ

十
秒
ほ
ど
で
復
活
し

で、や
っ
と
倒
れ
た
と
思
っ
た
ら



す
ぐ
に
ま
た
あ
た
し
を
追
い
か
け
始
め
る
の
だ



おかげで——

えー!? ピーカ今
オークと付き
合ってるの!?

ヤッパ

いい趣味
してんなオイ

やるじゃんアンタ
見直したわ!

オークの射精
めっちゃすごい
って本当?

だから違う
って言うってん
だろーが!!



相手が

コイツって
のはさあ…

最初見たときは
あたま抱えたよ

ウツン
でしょ…



1回くらいなら
あたしも間違
いとして片付け
る

でもこう
立て続けに

毎晩夢に出てくる
とあっては

さすがに穏やかでは
いられないワケで



どんだん
リアリティを
増してくるのだ

く…口に
出された…

この夢は日を
重ねるほど

しかも厄介な
ことに



うん…♡

んんっ…アルム
好きっ…大好きっ

あたしたちの関係は
ちよつと違う

さつきフェアリーは
相手をコロコロ替える
って言ったけど




ビュッ…

ああんっ
出てるっ…

ビュッ…


いっばい
出てるう…



この3年間
ずっと途切れずに
交際を続けている

フェアリーとしては
かなり異例の長さ
だけど

それだけ
お互いのことが
気に入ってるんだ




このままだと
いつか既成事実
されかねない

そう危惧したあたしは
この手で直にオークを
葬ることにした




リミットを外した
必殺モードの
ミサイルを解禁する

一撃で相手を
挽き肉に変える
ガチ殺傷用のやつだ



殺すつもりで撃った
にもかかわらず


コイツはなんと
生きていた



ま当然ながら
あたしの圧勝
だったんだけど

オラア!!

ただそれ以来姿を
見なくなったし



てつきり
諦めたもんだと
思ってた

もうね
あったまきた

これ以上
安眠の妨害を
許してなるか




近いうちに
アイツを
見つけ出して

ビッ

きっちり
カタをつける！





ただし仲間は
頼れない

今回のケースだと


あいつらは
面白がってオーク側に
付きかねないからだ

ちなみに
アルムにも内緒

彼の前でオークを
ミンチにするのは
さすがにね

むっ

あんにやる何と



旗振ってこっちを
待ってやがった



後で知ったこと
だけど——

こいつはあたしに
負けた日から
ドーピングを
繰り返して

一時的に
上級魔法使い
並みの魔力を
身に着けたらしい

ポータル





この日の計画を
実行するための

魔術の下地
を――



そして毎日欠かさず
念を飛ばすことで




あたしの中に少しずつ
積み重ねていったのだ



あとで
覚えてろよ…

…
このやろ…



くう〜…なんて
デリカシーの
無いやつだよ

あからさま
すぎる…!!

なんだその
新たな発見をした
みたいな顔は!?

ハ

もおー!
何なんだよ
コイツ最低!

信じらん
ない!

中身まで
覗きやがった!

…って
えっ?ちよっ

うそっ!!
早いって!!



オークが魔術使うなんて
発想がそもそも無かった
せいもあるけれど

とにかくあたしは
見事にはめられた
ってわけ

ファイファイ

ニハハ

…まずは
現状の確認だ



体には入らないし
声も意味をなす
言葉が出ない

オ
ア
エ

生意気にも呪文用の
対策してやがる

さーてコイツの術が
解けるまでどれくらい
かかるかな…

入念に
準備してきた
ってわけだ

オイ
さわんなそこ

殺すぞ

その間なにか
適当な話でもして
時間を稼がないと



いや待てよ
言葉がダメなら
話もできないじゃん

…これ
まずくね？

最悪だ……

さ……

あー
くそっ……!!

